

第414回定期演奏会



「祈り」

2021.9.11 (土)

15:00開演 [14:00開場]
Sat Sep 11, 2021 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール
広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

C.P.E.バッハ
弦楽のための交響曲ハ長調Wq.182-3
C.P.E.Bach: String Symphonie in C major Wq.182-3

モーツァルト
ヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調K.218
Mozart: Violin Concerto No.4 in D major K.218

メンデルスゾーン
交響曲第4番イ長調作品90「イタリア」
Mendelssohn: Symphony No.4 in A major Op.90 "Italian"

※当初予定のプログラムから出演者、曲目の一部が変更となっております。

コンサートマスター: 佐久間聡一
Concertmaster: Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)
S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)
チケット発売日/2021年7月12日(月)

プレイガイド
ローソンチケット(Lコード:61986)・チケットぴあ(Pコード:193-022)・広響事務局
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



プレミアム協賛/  合人社グループ

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、
中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局



広響公式HP

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL: 082-532-3080 HP: <http://hirokyo.or.jp>

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra
The 414th Subscription Concert



指揮 鈴木秀美
Conductor / Hidemi Suzuki



ヴァイオリン 神尾真由子
Violin / Mayuko Kamio



チェロ奏者としてバロックから現代音楽まで幅広く活躍する鈴木秀美だが、近年は指揮者としても頭角を現し、旋風を巻き起こしている。その鈴木秀美の広響デビューがいきなり定期演奏会というのも楽団の大きな期待の表れと言える。しかもエマニュエル・バハからメンデルスゾーンまで、バロック、古典、ロマン派の音楽の美味しいところを全て聴かせてくれるという憎い演出だ。ソリストは新型コロナウイルスの影響で来日が叶わなくなったハビエル・ボネに代わり、圧倒的な人気と実力を誇るヴァイオリニスト 神尾真由子が登場する。広響と奏でるモーツァルトの協奏曲に期待が高まる。



指揮
鈴木秀美
Conductor / Hidemi Suzuki

神戸生まれ。20世紀の最後16年間オランダ・ベルギーに住み、ヨーロッパ各地、アジアで演奏・指導する他、ブリュッセル王立音楽院バロック・チェロ科に初代教授として招聘され、2000年に帰国するまで務めた。ソリストとして、また18世紀オーケストラ、ラ・プティット・バンドのメンバー及び首席奏者として演奏し、バハ・コレギウム・ジャパンでは創立から2014年まで首席奏者を務め、バハの全宗教作品の通奏低音を演奏・録音した。1995年には日本人としては初めてのオリジナル楽器による「バハ/無伴奏チェロ組曲全曲」をドイツ・ハルモニウム・ムンディからリリースし、平成7年度文化庁芸術作品賞を受賞したほか、数々の賞を受賞している。2001年に古典派を専門とするオーケストラ・リベラ・クラシカ(OLC)を創設し、ハイドンを中心とするコンサートを行う。自身のレーベル《アルテ・デラルコ》からOLC、室内楽、ソロ等の録音を続々とリリース。指揮者として日本各地の交響楽団に客演するほか、ポーランド、オーストラリア、ベトナムなどに招かれる。山形交響楽団首席客演指揮者。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師。雑司谷拝鈍亭終身楽長。2021年より神戸市室内管弦楽団音楽監督に就任。著書に『「古楽器」よ、さらば!』(音楽之友社)「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」(東京書籍)「通奏低音弾きの言葉では、」(アルテス・パブリッシング)。第37回サントリー音楽賞、2011年度斎藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。



ヴァイオリン
神尾真由子
Violin / Mayuko Kamio

4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。これまで、国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団、ボストン・ポップス・オーケストラ、BBC交響楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ワルシャワ 国立フィルハーモニー管弦楽団などと共演。2020年10月に6年ぶりとなる「JSバハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ」の新譜を発表。初録音となるバハ無伴奏パルティータ3曲を、2020年6月コロナ禍の中、東京でも屈指の音響効果を誇る浜離宮朝日ホールにおけるセッションを実施した。これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロンの方々に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」を使用している。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。

新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



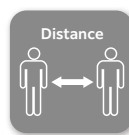
会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。